

# 一般廃棄物排出量のパネルデータ分析

## ～都道府県データから見た有料化の削減への効果～

熊丸博隆<sup>1</sup>

### 要旨

本研究では2000年代のごみ袋有料化が一般廃棄物発生量に与えた影響を都道府県データベースでパネルデータ分析を行った。市町村単位で実施されているごみ有料化の影響を都道府県データをもとに検討することで、それまで難しかった長期でのごみ有料化の分析を可能とした。本研究の結果として有料化実施が廃棄物排出量減少に繋がっていることがわかった。ただし、金属類、ガラス類、ペットボトルの有料化に関しては有意ではなかったため、①そもそも一般廃棄物排出量の内訳に含まれる割合が少ない、②自動販売機の横や道路周辺にあるごみ箱、不法投棄などで捨てられた、と推察される。またごみの分別数の増加は廃棄物排出量減少を促すことがわかったが、分別数の過大な増加は家計の負担増大につながり不法投棄や廃棄物の混在の要因になるため、慎重な議論が必要である。

---

<sup>1</sup> 神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程  
E-mail: hkumamaru12@yahoo.co.jp